（様式1）

施設指定管理者モニタリングチェックシート

施　設　名	**豊明市コスモス児童館**
指定管理者名	株式会社ポピンズエデュケア
指　定　期　間	令和7年　4月　1日　～　令和12年　3月　31日
所　管　課	子育て支援課

区分	項　　目	令和7年度　前半期（4～9月期）				令和7年度　後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考	指定管理者	指定管理者　備考	市	市　備考
①業務の履行確認	【施設全般の管理運営に関する業務】								
	条例施行規則に基づいた開館日・時間を遵守しているか	A		A		A		A	
	条例規則ほか各種規程を遵守のうえ、施設を供用しているか	A		A		A		A	
	人員体制が明確になっており、常に体制が整っているか	A		A		A	職員の勤務実績及びに予定を学校教育課に毎月提出	S	余裕ある人員配置と法人支援体制により安定した運営を確保している
	適切な有資格者を常に配置しているか	A		A		A		A	
	管理日誌等により、業務の記録をしているか	A	日誌とヒヤリハット記録をセットにする	A		A	日誌に、日々の業務実績を記録。さらに安全管理の観点から、ヒヤリハットの記載も行っている。	A	
	緊急事態発生時の対処マニュアルが整備されているか	A		A		A	緊急時のフローが一目で分かるように掲示	S	有事には訓練の成果が発揮され、緊急時に適切な対応が行われている
	【利用者に関する業務】								
	利用者数、稼働率等が著しく低下していないか	A		A	前年度比＋7.8%（全館平均では＋20.5%）	A		A	前年度比▲0.9%（全館平均＋2%）
	中高生の利用確保に向けた取組がなされているか	A	・学校行事の準備やテスト勉強のために中高生対象に部屋を開放・中学生のみの遊戯室開放時間を設定	S	具体的な取組が中高生の利用増に繋がっている	A	・学校行事の準備やテスト勉強のために、中高生対象の部屋を設けた。 ・中学生のみ利用可の遊戯室開放時間を設定	S	中高生向け利用時間を設け、利用機会の確保に取り組んでいる。前年度比＋62.5%（全館平均＋31.4%）
	【保守点検並びに清掃業務等】								
	建物、機械等の点検・保守は定期的に行われているか	A	・毎月2回施設点検（株式会社JMによる） ・4/24・8/18　火災通報装置点検 ・9/8　消防設備点検	A		A	・毎月2回、設備点検実施 （株式会社JMによる） ・10/29・12/17・2/25　火災通報装置点検実施	A	
	定期的に清掃、除草、剪定等は行われているか	A	9/14カーペット洗浄 除草、剪定はスタッフ間で定期実施	A	除草・選定は包括管理による実施を待たずして、職員で積極的に実施している	A	・除草、剪定はスタッフ間で定期的に実施 ・2/18 人工芝敷設工事	A	
	異常、不具合等を発見した場合、速やかに市に報告しているか	A	・5/27 遊戯室網戸修繕・5/30 電話回線不具合修繕・7/7　ウォータークーラー修繕・8/30 駐車場入口工事	A		A	・10/14　男子トイレ修理　・11/19 玄関鍵調整 ・1/6　　コンセント修理　・1/27　浄水器修理	A	
	利用者に対し、危険箇所の注意喚起を行っているか	A		A		A		A	
	破損箇所等が見つかった場合、適切に修繕等は行われているか	A		A		A		A	
	修繕等の履歴を適切に管理しているか	A		A		A		A	
	備品は適切に管理しているか	A		A		A		A	玩具の入れ替えや配置を工夫し、魅力ある環境づくりを行っている
	消耗品等は適切に補充しているか	A		A		A		A	
	【事業の実施に関する業務】								
	指定事業は適切に実施されたか	A		A		A		A	子ども主体の事業や異年齢交流を通じ成長を支援している
	自主事業は適切に実施されたか	A	・母親を対象とした工作イベントを実施(6/24）・企業主催の出前講座を実施(7/8・7/24)	S	自主事業をきっかけに保護者同士の交流の場となった	A	・母親を対象とした工作イベ ントを実施(12/3・2/9)	S	父親が参加しやすくなるよう事業内容を工夫している
	【個人情報の取り扱い】								
	個人情報等の管理は適切に行われているか	A		A		A		A	
	【①に係る指定管理者の自己評価】	・今年度も計画的に敷地内の草抜きや剪定作業を実施。美観を損ねないよう心掛けた。 ・気軽に親子教室に足を運べるように今年度は年齢の区別なく親子教室を実施。その結果、参加者は昨年度の3倍近くまでに増加している。 ・夏祭りは、児童が企画から実施まですべてを担い、職員はそれをサポートする形で実施した。これにより、子どもの主体的な取り組みを後押しすることができた。 ・今年度も母親を対象としたイベントを実施。参加者がイベント後も継続的に児童館を利用することも多くなっている。				・今年度も計画的に敷地内の草抜きや剪定作業を実施。美観を損ねないよう心掛けた。次年度よりJMへ依頼予定（5月・11月実施予定） ・事前予約が必要だった親子教室は随時参加可能に変更。初めて来館した方にも気軽に参加できるように工夫を凝らした。 ・今年度のクリスマス会は、子どもたちの「やりたい」を形にすることを最優先とし、職員はサポートに徹した。企画から当日の進行までを子どもたちがすべて担い、マジック・ダンス・お手玉などを披露。自分たちが主役となるイベントを創り上げたことで、大きな達成感につながった。 ・母親を対象としたイベント、「ネームキーホルダー」「お抹茶体験」を実施。参加者の満足度は非常に高く、どちらも好評を博した。次回以降の継続的な参加につながる確かな手ごたえを得ることができた。			
	【①に係る施設所管課の評価】	児童館と児童クラブの双方を運営する中で、館長の調整力により円滑な人員配置と職員間の連携が保たれている。中高生に対しては、学校行事の練習や学習の場として部屋を開放し、前年度67人から97人へと利用増となるなど、継続的な関係作りの成果が表れている。部屋数を活かした年齢別のゾーニングにより、各世代が安心して過ごせる環境も整えられた。また、館内外の環境整備を職員が定期的に行い、安全で快適な利用環境を確保している。母親向け工作企画から自然発生した交流の場において、館長が適切な距離感で関わり保護者同士の繋がりを育んでいる点も、地域に開かれた支援拠点として評価できる。	区分評価	A	最低基準を上回る人員配置や法人本部の支援体制により、安定した運営体制が確保されている。利用者の体調不良等の緊急時においても職員が適切に対応しており、避難訓練についても継続的な改善が図られるなど、安全管理に関する取組は適切に履行されている。事業面では、子ども主体のクリスマス会や新任職員の発想を活かした行事を実施したほか、小中学生が共に活動できる環境づくりを進め、子ども同士が配慮し合う関係性の醸成につなげている。また、父親も参加しやすい事業内容や周知方法を工夫するなど、多様な利用者を意識した運営が行われている。中高生利用促進の取組も含め、業務は概ね適切に履行されていると評価できる。	区分評価	A

区分	項目	令和7年度 前半期（4～9月期）				令和7年度 後半期（10～3月期）			
		指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考	指定管理者	指定管理者 備考	市	市 備考
②サービスの質の評価	【施設の運営状況に関する事項】								
	窓口対応は適切に行われているか	A		A		A		A	利用者に寄り添った丁寧な相談対応と支援を行っている
	アンケート結果等に基づき満足度向上に向けた取組がなされているか	A	幼児親子が小学生のいる時間帯でも利用しやすい環境を整えた。（具体例：遊戯室の時間を明確に分けた。さらにボランティア室を時間帯問わず幼児親子のみ利用可とした）	S	ゾーニングにより各世代がさらに利用しやすい環境となった	A	小学生のいる時間帯でも、幼児親子が安心して利用できる環境を整えた。 具体的には、遊戯室の利用時間を小学生と明確に分けたほか、ボランティア室を終日幼児親子専用として開放。	S	利用者意見を反映し、利用環境の改善に継続して取り組んでいる
	苦情や要望等に対して迅速にかつ適切に対応しているか	A		A		A		A	
	事故等が発生した場合、速やかに市に報告しているか	A		A		A		A	
	施設の清掃業務や衛生管理は適正か	A		A		A		A	
	モニタリングレポートの評価結果に基づき改善策を実施しているか	A		A		A		A	
	実施された自主事業等は満足できる内容であったか	A		A		A	毎回参加者に好評を得ている	S	参加者満足度が高く好評を得る事業を実施している
	子どもへの性暴力に対する措置がとられているか	A		S	課題意識を明確に持っている	A		A	研修と情報共有を通じて組織的な対応体制を構築している
	【指定管理者が設定したサービス水準に関する事項】								
	職員一人ひとりが、改善のテーマを決めて活動に取り組んでいるか	A		A		A		S	職員の経験や発想を活かした新たな取組が実施されている
	個々の利用者のニーズに応じた対応ができているか	A		A		A	個別の相談記録に基づき、一人ひとりのニーズに応じた保護者支援を行っている。最近の事例	A	多様な利用者ニーズに応じたきめ細やかな対応を実践している
	利用者に効果的に伝わるように掲示物・展示物を工夫しているか	A	幼児・小学生それぞれに合わせた掲示物を作成・掲示するように工夫している	A		A	利用者に合わせたデザイン・配置の工夫をしている。	A	玩具配置等を工夫し、利用者の興味を引く環境を整えている
	質の高いサービス提供のための情報共有が職員同士できているか	A	職員を衛生・総務・幼児親子・環境などのチームに分けて、定期的にミーティングを実施。館長はすべて同席。（多い日は1日3回）	S	館長のリーダーシップによりスタッフ間のコミュニケーションが活性化している	A	職員を衛生・総務・幼児親子・環境などのチームに編成し、定期的にミーティングを行い、密な情報の共有を心がけた。すべてのミーティングに館長は同席する体制（多い日は1日3回）をとっており、全職員で質の高いサービス提供を維持できるよう取り組んだ。	S	定期的な会議や研修により職員の資質向上を図っている
	【②に係る指定管理者の自己評価】	・昨年度のアンケートを受け、午後の時間帯や長期休みなど小学生が中心だった時間帯でも幼児親子が利用しやすい環境作りを心掛け、部屋の利用ルールを改善するなどした。この取り組みは利用者から好評をいただいている。 ・遊びの幅が広がるように、幼児向けの玩具を随時入れ替えたり、置き方を工夫したりしている。				・昨年度のアンケートに、午前中に来館する幼児親子から「館内が寒い」と意見が寄せられていた。これを受け、今年度はストーブの置き方を工夫したり、事前に部屋を暖かくしたりと防寒対策を講じた。その結果、3月実施のアンケートには、館内の寒さに関する意見はなくなり、利用環境の改善の効果があったと感じる。 ・育児に関する悩みを丁寧に傾聴し、個別の状況に寄り添った相談対応を実施。時には館長の体験談も交えながら温かい対話を心がけた。対話を重ねる中で、少しずつ保護者の表情が和らぎ、前向きな変化が見られた。また、スタッフ間で連携してお子さんの成長した姿を継続的に伝えるなどして、安心感を与えられる環境づくりに努めた。		
	【②に係る施設所管課の評価】	利用者の要望を受け、時間帯を問わず幼児親子専用の部屋を設けることで、安全・安心な利用環境の向上を図っている。子どもへの性暴力防止に関しては、研修や宣誓書の導入などスタッフへの体制整備に加え、グループ会社全体で定期的な情報共有を行い組織的な意識向上に取り組んでいる。また、子ども同士のトラブル防止や子どものSOSを的確に受け止める体制作りについても今後の検討課題として具体的に捉えており、課題にアプローチする姿勢が明確である。スタッフを複数チームに分けて定期的に実施しているミーティングには、館長が積極的に関わることでコミュニケーションが活性化しており、質の高いサービス提供と組織力の強化が図られている。	区分評価	A	利用者一人ひとりに寄り添った育児相談や外国籍利用者への丁寧な支援を行うとともに、アンケート結果を踏まえた防寒対策や幼児親子専用スペースの設置など、利用環境の改善に積極的に取り組んでいる。また、大学教員との毎月の勉強会を通じて専門的知見を取り入れながら職員の資質向上を図るとともに、他館から移籍した職員の経験やアイデアを活かした新たな事業展開につなげている。さらに、地域貢献事業では想定外の事態にも関係者の意向を汲み取りながら丁寧に対応するなど、利用者や地域との信頼関係を重視した運営が実践されている。継続的な改善と職員間の学び・情報共有がサービスの質の向上に効果的に結び付いていると評価できる。	区分評価	A
③サービス提供の安定性の確認	事業収支と収支計画書に大きな乖離はないか	A		A		A		A	
	必要な帳簿は備えられているか	A		A		A		A	
	経理処理は適正に行われているか	A		A		A		A	
	管理経費縮減に関する取組がなされているか	A		A		A		A	
	団体の経営状況が的確に把握・分析されているか	A		A		A		A	
	団体の経営状況は健全で安定しているか	A		A		A		A	法人の豊富な運営実績を活かし安定した運営を行っている
	【③に係る指定管理者の自己評価】	おおむね安定的に運営できている				おおむね安定的に運営できている			
	【③に係る施設所管課の評価】	事業収支と事業計画に大きな隔たりはなく、経理処理等も適正に実施されている。	区分評価	A		安定的に運営できている		区分評価	A

【項目評価】

S（優　良）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準を上回っている。

A（良　好）　：　協定書、仕様書等の基準を遵守し、その水準に概ね沿っている。

B（課題あり）：　協定書、仕様書等を遵守しているが、内容の一部に課題がある。

C（要改善）　：　協定書、仕様書等が遵守されておらず、改善が必要である。

【区分評価】

S（優　良）　：　項目評価が全てA以上、かつSが過半数以上。

A（良　好）　：　項目評価が全てA以上。

B（課題あり）：　項目評価にBがある。

C（要改善）　：　項目評価にCがある。